

工学系と生態系の架け橋：資源利用と生物多様性

JST戦略的創造研究推進事業－RISTEXプロジェクトより



開催日：2013年6月5日(水)、11:00～12:30

会場：龍谷大学 瀬田キャンパス 7号館 環境実習室2

進行：菊池隆之助(龍谷大学理工学部)

本プロジェクトは科学技術イノベーション(革新)を推進支援するマニュアル作成を主目的として採択されました。次ぎのようなアプローチが含まれています：リソースロジスティック可視化、金属資源、農業食糧、生物多様性、公共・企業戦略。

今回のセミナーでは上記プロジェクトの生物多様性グループの視点である「資源利用と生物多様性への影響」を中心に紹介します。資源・生産活動が生態系に及ぼす影響が認知されにくい背景や土地利用の生態系への影響をどのように評価していくかなどを解説します。

資源端重量の観点から見た資源リスク評価

山末英嗣

京都大学 エネルギー科学研究科

資源利用には多くのリスクが関連しており、生物多様性への影響は環境リスクの一つです。このようなリスクが意識されにくい理由として、製品が背後に抱えている輸送、製錬、採掘などが消費者から見えにくい、という知のギャップによるところが大きいと考えられます。「資源端の重量」という概念を利用し、資源利用が環境に与える影響を生物多様性への影響という観点から紹介し、さらに都市鉱山の有効利用が環境リスクの回避に与える影響について紹介します。

人間活動にともなう生物多様性の変化

～陸が変われば海も変わる～

山野博哉

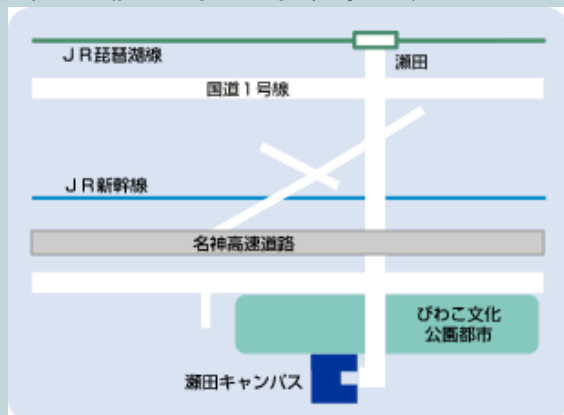
(独)国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター

農業活動や採掘活動などを行い、陸の土地利用を大きく変えています。土地利用の変化は陸の生物多様性に大きな影響を与え、土砂などの流入を通じて、川やサンゴ礁など沿岸の生物多様性にも大きな影響を与えています。こうした変化を、過去から現在にかけて撮影された航空写真や衛星画像の解析によって推定することができます。このセミナーでは、陸の変化とそれにとともなう海の変化を紹介し、人間活動との関わりを議論します。

龍谷エコロジーセミナー

生態学や環境問題に関わる研究者や講師を学内外から招き、最新の研究トピックや環境問題への取り組みについてわかりやすく解説します。理工学部の学部生・大学院生はもちろん、他学部の教員や学外の方も自由(無料)にご参加ください。関心をお持ちの全ての参加を歓迎いたします。

問い合わせ：龍谷大学理工学部 菊池研究室 (☎077 544 7130 内線7101 / Eメール kikuchi@rins.ryukoku.ac.jp)



JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分



本セミナーは(独)科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発) 科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム「リソースロジスティクスの可視化に立脚したイノベーション戦略策定支援」プロジェクトによる研究成果の一部として開催いたします。